

環境に配慮した森林認証製品を提供し、持続可能な木材利用を目指す

持続可能な森林の活用と保全のため、「植林～保育～伐採」のサイクルを適正に管理し、周りの生態系にも十分配慮した森林の木材を利用。同時に環境と社会に責任を持つことへの普及啓発や「共感」を育むコミュニティの形成、森林教育等を行いながら、地域材やFSC認証の木材・木製品の利用を広げる取組を行なっている。

<企業プロフィール>

社名	株式会社中村製材所
創業	1950年
資本金	300万円
所在地	佐賀県佐賀市諸富町為重385-1
代表者	代表取締役 中村 展章
従業員数	4人 (2019年8月1日時点)
事業内容	FSC® 認証・地域材製品の製造・販売

【経緯・背景等】

中村製材所が位置する筑後川流域は、上流に日田林業、下流に大川・諸富家具、流域内には多くの製材所が存在し、林業・林産業関連の産業が帯となってつながる地域。1960年代の木材輸入自由化、円高による輸入材拡大などの影響で1990年代後半には木材自給率が20%となる中、当社では1999年から国産材、特に地域材に触れる機会をつくるため、児童・生徒の机やイス、校舎の木造・木質化などに尽力してきた。

【具体的な取組】

環境に配慮したFSC®森林認証製品や地域材の提供

2006年にFSC®*COC認証を取得。九州電力や宮崎県諸塚村が管理するFSC®認証森林から調達した木材や木製品を2010年にオープンしたスターバックスのグリーン店舗1号店となる福岡大濠公園店をはじめ、林野庁の研修施設、三越日本橋本店、WWF Japanに、地域材を佐賀県庁知事室などに提供している。

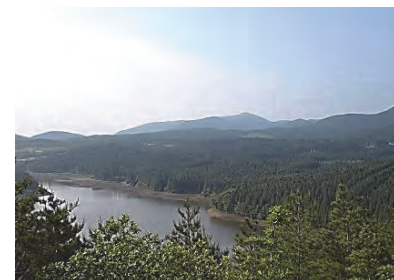
*FSC® : Forest Stewardship Council® (森林管理協議会)。森林の管理や伐採が、環境や地域社会に配慮して行なわれている森林を認証する国際機関。当社ライセンス番号FSC ® C022549

また、若い木(小径木)を資源として活用した「SKINWOOD®」(桧・杉壁面や家具材)を開発し、林業・林産業界と社会の持続的発展を支えている。

【取り組んだ成果】

木材を通じて、地域コミュニティや企業・行政・金融機関など「産学官民金」の交流により新たなビジネスの取組につながっている。FSC®認証木材の市場創出にはユーザーの「共感」が必要との認識のもとに行っている森林・環境教育の活動やニーズ対応商品の開発などが評価され、「佐賀さいこう企業」(2019年)、「ウッドデザイン賞2018」等を受賞。環境と社会に対して責任を持つことへの理解を広めることで、持続可能な木材利用を推進している。

▼九州電力の森林



▼桧壁面材「SKINWOOD®」 (佐賀県庁での利用)



▼(国際NGOでの利用)

